

分野名	全てのいのちが共生する社会の構築			施策 No.	IV-2	施策名	生息環境の保全	
目的及び内容	生物多様性保全に資する地域指定の拡大（保安林、鳥獣保護区等の拡大） 農空間保全地域制度による保全の推進							
分野内における位置付け	分野の2020年目標である「生物多様性保全に資する地域指定を計画策定時（2010年3月末81,970ha）から2,000ha拡大」の達成を図る。							
関係法令、行政計画等	生物多様性条約、生物多様性基本法、生物多様性国家戦略2012-2020(H24.9) 府環境基本条例、府自然環境保全条例、府立自然公園条例、府民の森条例、府自然海浜保全地区条例、府文化財保護条例 みどりの大阪推進計画（H21年12月、H37年まで） 大阪府豊かな海づくりプラン（H17年5月、H26年度まで）							
施策に属する事業及び取組実績	毎年度点検評価対象事業名	取組実績(H23)		取組実績(H24)		取組実績(H25)		
	大阪府立阪南・岬自然公園の指定	947ha 新規指定 府南端まで延伸	☆☆☆		☆☆☆	-		
	保安林の指定	9地区で225ha を新規で指定	☆☆☆	9地区で289ha を新規で指定	☆☆☆			
	鳥獣保護区の指定・更新【動愛】	6地区で4,190ha を更新	☆☆	2地区で1,659ha を更新 特別保護地区は1地区で70 を更新	☆☆			
	農空間保全地域制度の推進	遊休農地解消47.7ha	☆☆☆	遊休農地解消49.5ha		遊休農地解消52ha		
	単年度サイクルの点検評価結果：☆☆☆想定以上/☆☆☆想定どおり/☆☆想定以下（特に改善を要しない）/☆想定以下かつ要改善							
	その他の主な事業名	実施年度	主な内容・実績					
	自然環境保全指導事業	H23-25	自然環境保全条例に基づき、府内に自然環境保全指導員を適正に配置し、保全等の状況の把握、必要な指導を実施（府内47名）					
	森林計画・造成・府営林整備事業	H23-25	健全な森林の維持造成 間伐実施面積1,197ha（H23）、343ha（H24）					
	酸性雨モニタリング土壌植生調査	H23-25	（26年度に記入）					
自然海浜保全地区管理事業	H23-25	（26年度に記入）						
関空周辺周辺海域採捕禁止区域管理事業	H23-25	（26年度に記入）						
棚田・ふるさと保全事業	H23-25	棚田基金を設置し、基金を用いて棚田・ふるさとファックアップの運営や府民の保全活動を支援						
施策に要したコスト	事業のコスト（千円）	H23（決算額）		H24（決算額）		H25（見込み額）		
	本施策が主たる目的である環境関係事業	（26年度に記載）						
	本施策が従たる目的である環境関係事業							
	環境以外の目的を有する事業							
取組指標及び近年の実績（施策効果の定量評価）	取組指標	設定理由			近年の実績			
	① 生物多様性保全に資する地域指定の対象面積	保安林や鳥獣保護区等、生物多様性の保全に資する地域指定の拡大状況を把握する。			83,305ha（2011年度末） （保安林16,991ha、自然公園20,039ha、近郊緑地保全区域33,580ha、自然環境保全区域38ha、緑地環境保全地域32ha 特別緑地保全地区2ha：保安林、公園、近郊は重複有）			
副次的効果、外部効果等	①社会教育効果、地域力を高める効果が期待できる。 ②生態系サービス（生態系から得られる恵み；大気・水、食料・木材、医薬品・品種改良、文化・風土）の維持に資する。							
国等の政策、社会情勢等	①H22年10月名古屋市中にて生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催、新戦略計画・愛知目標（2020年までに生態系が強靱で基礎的なサービスを提供できるよう、生物多様性の損失を止めるために実効的かつ緊急の行動を起こす）、名古屋議定書等を採用。 ②「生物多様性国家戦略2012-2020」H24年9月閣議決定。基本戦略、各主体に期待される役割、ロードマップ、行動計画を規定。							
点検・評価結果	①当施策は概ね順調に進捗している。 ②計画本文及び工程表に掲げた事業の進捗は以下のとおり。							
	事業名	進捗						
	生物多様性の保全に資する地域指定拡大	☆☆ H24年度末までに保安林514ha、府立自然公園947ha増加						
	天然記念物の追加指定の検討	（26年度に記入）						
	法・条例に基づく緑地や自然環境の保全	☆☆ 自然環境保全条例に基づき、大阪みどりのトラスト協会と連携し、府自然環境保全地域（5箇所：38ha）、府緑地環境保全地域（2箇所：32ha）の保全を実施 森林法、自然公園法、府立自然公園条例に基づき、指定区域を適正に保全						
	生物多様性増大、生態系保全に関する調査研究推進	（26年度に記入）						
進捗状況	☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画どおりではない							
施策・事業の改善方針等	（26年度に記入）							
今後の取組指標及び施策目標	（今後掲げるべき取組指標）「取組指標及び近年の実績」に掲げた①の指標とする。 （今後掲げるべき目標）分野目標と同じ。							
作成担当課・G								

本作成例は、以下の前提で仮に作成したものです。本シートの記載内容は平成26年度の複数年サイクル点検評価実施時に確定します。
 ・記載している社会情勢等は現時点のもの。
 ・平成25年度の各事業の実績は、ほぼ年度当初の見込みどおりの実績と仮定。